

2022年10月7日

狭山事件の再審を求める市民集会・キリスト者前段集会

— ご参加のお願い —

関係者各位

荊冠の主を讃美します。

「狭山事件の再審を求める市民集会」が10月28日(金)に開催されます。狭山弁護団が8月29日、11人の鑑定人の証人尋問を求める事実取調請求書を東京高裁に提出し、第三次再審は正念場を迎えています。東京高裁に事実調べを求める緊急署名運動もスタートしています。一日も早く狭山事件再審の事実調べ・再審開始を勝ち取りたいと願い、その声を裁判所や検察に届け、世論に訴えるために、日比谷公園野外音楽堂に結集したいと思います。

例年通り、当日午前中にはキリスト者前段集会を持ち超教派の交流と連帯を深め、取り組みを分かち合いたいと思います。ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

NCC 日本キリスト教協議会 総幹事 金 性済
日本基督教団部落解放センター 運営委員長 亀岡 顕
日本カトリック部落差別人権委員会 委員長 中村倫明
部落問題に取り組むキリスト教連帯会議 議長 奥村貴充

日時 2022年 **10月28日(金)** 10:30/13:00

場所 東京 ①日比谷図書文化館(大ホール)／②日比谷野外音楽堂

東京メトロ 丸の内線・日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口より徒歩約3分

スケジュール

10:30～11:00 **「キリスト者前段集会」(場所①)**

各自休憩

13:00 **「狭山事件の再審を求める市民集会」(場所②)**

主催：狭山事件の再審を求める市民集会実行委員会

14:30 デモ出発、16:00頃 解散

連絡先 日本基督教団部落解放センター 〒574-0073 大阪府大東市緑が丘2-16-14
TEL:072-875-8470 FAX:072-875-8471 E-mail:blc@nyc.odn.ne.jp

→裏面もご覧ください。



解放新聞号外
<https://tinyurl.com/4y8uckeb>



署名の趣旨
<https://tinyurl.com/yc6pzd2>



個人署名用紙
<https://tinyurl.com/t7bxxjrt>



団体署名用紙
<https://tinyurl.com/y8kyh4vs>

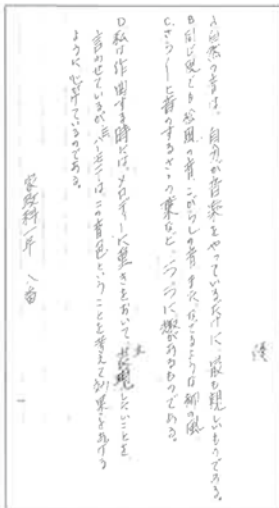
下山第2鑑定

蛍光X線分析で
 インク含有元素を検査

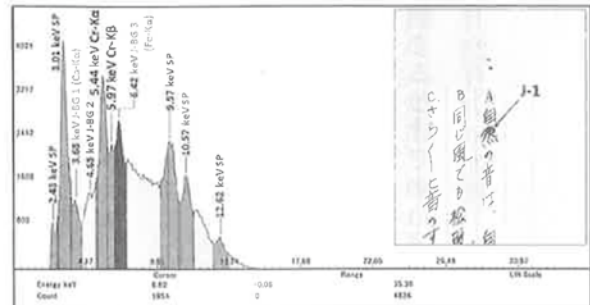
証拠の万年筆は被害者のものとはいえない

裁判所は鑑定人尋問・再審開始を

◀被害者が事件当日に書いたペン習字浄書のインク
 =クロム元素が含まれている

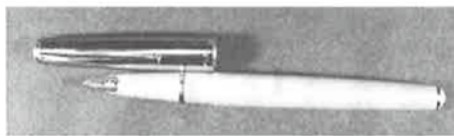
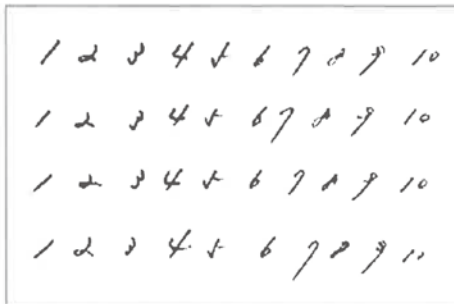


▼被害者が使っていた
 インク瓶

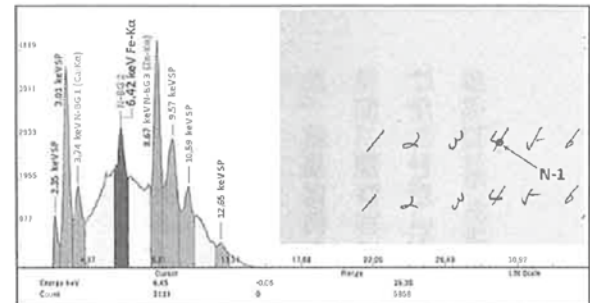


▲ペン習字浄書インクの蛍光X線分析の結果。蛍光X線がエネルギーごとにどれぐらいに発生しているかピークになってあらわれる。ピークの高さが測定された元素の数を示す。クロム元素固有の蛍光X線が発生していることがわかる。

◀発見万年筆で書いた数字
 =クロム元素が含まれていない



▲発見万年筆



▲発見万年筆で書いた「数字」インクの蛍光X線分析の結果。鉄元素が含まれているがクロムは含まれていない。(クロム固有の蛍光X線のピークがあらわれていない)

狭山事件では、石川さんの家から自白の通り被害者の万年筆が発見されたとして有罪の証拠となっています。下山進・吉備国際大学名誉教授は、蛍光X線分析装置を使って、証拠開示された発見万年筆で書いた数字のインクと被害者が書いたペン習字浄書のインクなどにふくまれる元素を調べました。その結果、被害者が事件当日に使っていたインクや被害者のインク瓶のインクにはクロム元素が含まれていましたが、発見万年筆のインクにはクロム元素が含まれていないことが明らかになりました。石川さんの家から発見されたとして有罪の証拠とされた万年筆には被害者の使っていたインクは入っておらず、被害者の万年筆とはいえないことが科学的に明らかになりました。

万年筆は疑問だらけだ
 東京高裁は狭山事件の
 再審開始を！